



第5期中間期(2012年9月期)決算 について

2012年11月21日

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行

目次

第5期中間期(2012年9月期)決算について

1. 決算サマリー(連結)	・・・ 3
2. 損益計算書(連結)	・・・ 4
3. 貸借対照表(連結)	・・・ 5
4. クレジットコスト・投資損益(連結)	・・・ 6
5. 不良債権及びその保全状況	・・・ 7
6. 業務別損益概況(単体)	・・・ 8
7. 危機対応業務にかかる実績等について	・・・ 9
(参考) これまでの当行の根拠法改正等について	・・・ 10

第5期中間期(2012年9月期)決算について

1. 決算サマリー（連結）

①概況

- ◆連結業務粗利益は、2011/9期比39億円増の682億円
- ◆中間純利益は、同比335億円減の185億円
- ◆与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入等により計199億円を計上
- ◆株式・ファンド関係損益は、大口投資案件のEXIT等により、107億円の益を計上

②危機対応業務の影響

- ◆2012/9末の貸出金残高は、東日本大震災に関する危機対応業務への取組等により、2012/3末比586億円増の13兆7,041億円

③財務健全性の確保

- ◆BIS比率については、ほぼ横這い
- ◆Tier1比率については、リスクアセット増加の影響等もあり、2012/3末比0.50ポイント低下

	(単位:億円)		増減 (B)-(A)	(参考)2012/3期 (12ヵ月決算)
	2011/9期(A) (2012/3期中間期)	2012/9期(B) (2013/3期中間期)		
1 連結業務粗利益	642	682	39	1,336
2 連結業務純益(一般貸引繰入前)	459	474	15	957
3 連結業務純益(一般貸引繰入後)	459	288	△ 170	957
4 経常利益	669	405	△ 263	992
5 中間(当期)純利益	520	185	△ 335	773
6 与信関係費用(△は費用)	167	△199	△366	45
7 株式・ファンド関係損益	18	107	89	△13

	(単位:億円)		増減 (B)-(A)	(参考) 2011/9末
	2012/3末 (A)	2012/9末 (B)		
8 貸出金残高	136,454	137,041	586	131,633
9 総資産	155,798	158,186	2,387	150,978

(参考:速報値)				
	2012/3末	2012/9末	増減	(参考)
	(A)	(B)	(B)-(A)	2011/9末
10 BIS比率(自己資本比率)	18.56%	18.61%	0.04%	20.00%
11 同Tier1比率	23.03%	22.53%	△0.50%	25.00%

2. 損益計算書（連結）

	2011/9期(A) (2012/3期中間期)	2012/9期(B) (2013/3期中間期)	増減 (B)-(A)	(参考)2012/3期 (12ヵ月決算)
1 連結業務粗利益	642	682	39	1,336
2 資金利益	607	618	10	1,218
3 役務取引等利益	23	45	21	89
4 その他業務利益	11	18	7	29
5 営業経費	△ 183	△ 208	△ 24	△ 378
6 連結業務純益(一般貸引繰入前)	459	474	15	957
7 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	—	△ 185	△ 185	—
8 連結業務純益(一般貸引繰入後)	459	288	△ 170	957
9 臨時損益(△は費用)	210	117	△ 93	34
10 不良債権関連処理額	△ 5	△ 25	△ 20	△ 62
11 貸倒引当金戻入益・取立益等	173	12	△ 160	108
12 株式等関係損益	△ 15	38	54	△ 52
13 持分法による投資損益	16	17	0	△ 20
14 その他	42	75	32	61
15 うちファンド関連損益	33	68	34	38
16 経常利益	669	405	△ 263	992
17 特別損益	△ 0	7	8	109
18 税金等調整前中間(当期)純利益	669	413	△ 255	1,102
19 法人税等合計	△ 138	△ 223	△ 85	△ 319
20 少数株主損益調整前中間(当期)純利益	530	189	△ 341	782
21 少数株主利益	10	4	△ 5	9
22 中間(当期)純利益	520	185	△ 335	773

① 連結業務粗利益

- ◆ 連結業務粗利益は、2011/9期比39億円増の682億円
- ◆ 資金利益は、有価証券利息・株式配当等の増加により同比10億円増加
- ◆ 役務取引等利益は、投融資関連手数料等の伸長により同比21億円増加
- ◆ その他業務利益は、ほぼ横這い

② 株式関係損益・ファンド関連損益

- ◆ 株式等関係損益は、大口投資案件のEXIT等により2011/9期比54億円増の38億円の益を計上
- ◆ ファンド関連損益についても、大口投資案件のEXIT等によるファンド関連利益の伸長等により、同比34億円増の68億円の益を計上

③ 中間純利益

- ◆ 中間純利益は、一般貸倒引当金繰入等による与信関係費用の増加により、2011/9期比335億円減の185億円

3. 貸借対照表（連結）

(単位:億円)		2011/9末	2012/3末 (A)	2012/9末 (B)	増減 (B)-(A)
1	現金預け金	1,451	1,756	1,591	△ 164
2	有価証券	11,250	11,766	12,474	708
3	貸出金	131,633	136,454	137,041	586
4	有形固定資産	1,823	1,809	1,858	48
5	支払承諾見返	1,589	1,285	1,361	76
6	貸倒引当金	△ 1,459	△ 1,514	△ 1,648	△ 134
7	その他	4,689	4,241	5,508	1,266
8	資産の部合計	150,978	155,798	158,186	2,387
9	債券・社債	35,487	36,718	37,501	783
10	借入金	88,520	91,705	93,118	1,413
11	その他	2,831	2,764	3,003	239
12	負債の部合計	126,839	131,188	133,624	2,435
13	資本金	11,811	11,877	11,983	105
14	資本剰余金	10,604	10,604	10,604	—
15	利益剰余金	1,343	1,596	1,407	△ 188
16	その他の包括利益累計額	327	468	483	14
17	少数株主持分	51	63	83	20
18	純資産の部合計	24,139	24,610	24,562	△ 47

①資産

- ◆ 危機対応業務への取組等による貸出金の増加及び大口投資案件による有価証券の増加等により、総資産は15兆8,186億円に増加
- ◆ その他資産については、買現先勘定の増加等に伴い、5,508億円に増加

②負債

- ◆ 貸出金・有価証券残高の増加等に伴い、債券・社債、借入金を中心に増加

③純資産

- ◆ 2012/6の株主総会決議を経て配当実施(△373億円)
- ◆ 2012/6に増資を実施(105億円)
- ◆ 配当実施等により純資産は2兆4,562億円

(参考) 連結株主資本等変動計算書

	(単位:億円)	当期首残高	2012/9期変動額			2012/9末残高	
			配当	中間純利益	その他		
1	資本金	11,877	105	—	—	105	11,983
2	資本剰余金	10,604	—	—	—	—	10,604
3	利益剰余金	1,596	△ 188	△ 373	185	—	1,407
4	株主資本	24,078	△ 83	△ 373	185	105	23,995
5	その他の包括利益累計額	468	14	—	—	14	483
6	少数株主持分	63	20	—	—	20	83
7	純資産合計	24,610	△ 47	△ 373	185	140	24,562

4. クレジットコスト・投資損益（連結）

(単位:億円)	2011/9期(A) (2012/3期中間期)	2012/9期(B) (2013/3期中間期)	増減 (B)-(A)	2012/3期 (12ヵ月決算)
1 与信関係費用(△は費用)	167	△ 199	△ 366	45
2 貸倒引当金繰入(△)・戻入	132	△ 211	△ 344	△ 14
3 偶発損失引当金繰入(△)・戻入	7	—	△ 7	7
4 貸出金償却(△)	△ 8	△ 0	8	△ 51
5 償却債権取立益	33	12	△ 20	101
6 債権処分損(△)益	3	—	△ 3	3
7 株式・ファンド関係損益	18	107	89	△ 13
8 株式等関係損益	△ 15	38	54	△ 52
9 投資損失引当金繰入(△)・戻入	△ 1	△ 0	1	△ 1
10 株式等償却(△)	△ 5	△ 18	△ 13	△ 68
11 株式等売却損(△)益	△ 8	57	66	18
12 ファンド関連損益	33	68	34	38
13 ファンド関連利益	54	108	53	88
14 ファンド関連損失(△)	△ 21	△ 39	△ 18	△ 50
15 持分法投資損益	16	17	0	△ 20

①与信関係費用

- ◆貸倒引当金繰入増により、与信関係費用は全体で計199億円を計上
- ◆一般貸倒引当金にかかる過去の大口案件の格付遷移に起因する貸倒実績率の上昇等により、貸倒引当金は計211億円を繰入

②株式・ファンド関係損益

- ◆株式・ファンド関係損益は、全体で107億円の益を計上
- ◆株式等関係損益は、大口投資案件のEXIT等による株式等売却益の計上により、2011/9期比54億円増の38億円の益を計上
- ◆ファンド関連損益についても、大口投資案件のEXIT等によるファンド関連利益の伸長により、同比34億円増の68億円の益を計上

5. 不良債権及びその保全状況

○リスク管理債権の状況<連結>

(単位:億円)		2011/9末 (A)	2012/3末 (B)	2012/9末 (C)	増減	
					(C)-(A)	(C)-(B)
1	破綻先債権	54	106	41	△ 12	△ 65
2	延滞債権	1,075	1,364	1,306	230	△ 58
3	3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権	567	527	482	△ 85	△ 45
4	リスク管理債権 ①	1,697	1,999	1,830	132	△ 169
5	貸出金残高 ②	131,633	136,454	137,041	5,408	586
6	①/②	1.29%	1.47%	1.34%	0.05%	△0.13%
7	リスク管理債権 ③	447	379	364	△ 83	△ 15
8	貸出金残高 ④	6,882	6,117	4,456	△ 2,425	△ 1,661
9	③/④	6.50%	6.21%	8.17%	1.67%	1.97%

◆ リスク管理債権残高、同不良債権比率ともに、2012/3末比で減少

◆ 第3セクター向け債権については、一部取引先が株主再編により当該分類の対象外となったため、貸出金残高が同比で大幅に減少

○金融再生法開示債権の保全状況<単体>

①金融再生法開示債権の状況(部分直接償却実施後)

(単位:億円)		2011/9末 (A)	2012/3末 (B)	2012/9末 (C)	増減	
					(C)-(A)	(C)-(B)
10	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	57	109	139	82	29
11	危険債権	1,078	1,367	1,198	120	△ 169
12	要管理債権	567	528	482	△ 85	△ 46
13	開示債権合計	1,703	2,004	1,819	116	△ 185

②保全率 (単位:%)

14	破産更生債権及びこれらに準ずる債権並びに危険債権	100.0	100.0	100.0	-	-
15	要管理債権	86.6	88.4	88.3	1.7	△0.1
16	開示債権合計	95.5	96.9	96.9	1.4	△0.0

◆ 金融再生法開示債権に対する保全率は、開示債権合計で96.9%と引き続き高水準を堅持

③その他債権に対する引当率 (単位:%)

17	要管理債権以外の要注意先債権	12.1	6.7	12.0	△0.1	5.3
18	正常先債権	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1

6. 業務別損益概況（単体）

	2011/9期 (A)	2012/9期 (B)	増減 (B)-(A)	2012/3期 (12ヵ月決算)
	(2012/3期中間期)	(2013/3期中間期)		
1 融資業務	754	395	△ 358	1,291
2 融資損益	608	606	△ 2	1,213
3 償却・引当(ネット)	145	△ 210	△ 356	77
4 投資業務	32	122	90	△ 33
5 投資損益	36	139	102	77
6 償却・引当(ネット)	△ 4	△ 16	△ 12	△ 111
7 役務取引等収支	16	38	21	73
8 その他業務収支	6	15	8	△ 25
9 営業経費	△ 180	△ 197	△ 17	△ 365
10 その他損益(臨時損益等)	8	11	3	125
11 税引前中間(当期)純利益	637	384	△ 252	1,065
12 法人税等合計	△ 138	△ 222	△ 84	△ 318
13 中間(当期)純利益	499	161	△ 337	747

(注)業務分野の区分表記につきましては、経営管理上のものです。

① 融資業務

◆ 融資業務については、一般貸倒引当金繰入等に伴う与信関係費用の増加等により、全体では2011/9期比358億円減となる395億円の利益を計上

② 投資業務

◆ 投資業務については、大口投資案件のEXIT等により、全体では同比90億円増となる122億円の利益を計上

③ その他

◆ 役務取引等収支は、投融資関連手数料等の伸長により、同比21億円増となる38億円の利益を計上

(参考:[単体]情報)	2011/9期 (A)	2012/9期 (B)	増減 (B)-(A)	(参考) 2012/3期 (12ヵ月決算)
	(2012/3期中間期)	(2013/3期中間期)		
1 貸出金利回り	1.94%	1.79%	△0.15%	1.91%
2 外部負債利回り	1.28%	1.15%	△0.13%	1.25%
3 利幅	0.67%	0.65%	△0.02%	0.66%
4 営業経費率	0.29%	0.30%	0.02%	0.29%
5 利鞘	0.38%	0.34%	△0.03%	0.37%

7. 危機対応業務にかかる実績等について

- ◆2008年10月1日：指定金融機関として危機対応業務を開始
- ◆2008年12月11日：金融危機対応融資業務を開始（当該業務実施期間は2011年3月末日まで）
- ◆2009年9月24日：総額1,032億32百万円の増資（株主割当）
- ◆2010年3月23日：総額779億62百万円の増資（株主割当）
- ◆2011年3月12日：東日本大震災による被害に係るものを危機対応業務の対象に追加
- ◆2011年12月7日：総額61億70百万円の増資（交付国債の償還）
- ◆2011年12月12日：円高危機対応業務の拡充（利子補給措置等）
- ◆2012年3月23日：総額4億24百万円の増資（株主割当）
- ◆2012年6月6日：総額105億28百万円の増資（交付国債の償還）
- ◆2012年11月20日：交付国債の償還請求を実施（当該償還請求により総額86億37百万円の増資がなされる見込み）

危機対応業務への取組状況(累計実績)【単体】

(単位:億円、件)

	2012/3末(A)		2012/9末(B) (*3)		増減(B)-(A)	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
1 融資額(*1)	42,970	1,090	46,574	1,102	3,604	12
2 損害担保(*2)	2,683	47	2,683	47	-	-

(*1) 日本公庫よりリースステップローンによる信用の供与を受けた金額実績及び件数となっております。

(*2) 日本公庫より損害担保による信用の供与を受けた融資額及び出資額の合計(申込予定のものを含む)です。

なお、当中間期より集計範囲を変更しているため、金額・件数ともに遡及して記載しております。

(*3) うち東日本大震災に関する事案を対象とするものは以下の通りです。

融資額1兆2,894億円(144件)、損害担保19億円(7件)

<損害担保について>

- 2012/3期決算説明資料に記載のとおり、危機対応業務に係る株式会社日本航空宛の損害担保契約付融資額670億円のうち470億円（当社の更生手続終結により、2011年4月に確定した額）については、最終的には、同契約に基づき、日本公庫より補てんされております。
- エルピーダメモリ株式会社に対する債権等の一部(*1)については、日本公庫との間で損害担保取引に係る契約を締結しており、当行は日本公庫に対し融資にかかる損害担保補償金を請求し、既に支払いを受けております(*2)。なお、当該取引に基づき当行が公庫より受領する補償金は最大で277億円となる可能性があります。

(*1) 出資額284億円（補てん割合8割）、融資額100億円（同5割）

なお、記載金額に利息、損害金等は含まれておりません。

(*2) 今後、補償金の支払いを受けた債権について元本にかかる回収等を行ったときは、当該回収等に補てん割合を乗じた金額を日本公庫に納付します。

(参考) これまでの当行の根拠法改正等について



(注) 本スライドについては、法令に関する内容となるため和暦表示としております。

